

テスト名	TOEIC® Speaking Writing Test	
1. 運営事業団体	ETS/IBC	
2. テスト作成母体	ETS	
3. 主たる受験対象者	第二英語学習者(ビジネス向け)	
4. 目的	ビジネスや日常生活における英語スピーキングとライティングを直接測定する	
5. 構成概念の構成(測定する能力)	スピーキング能力 発音・イントネーション、アクセント・文法・語彙・一貫性・内容の妥当性・内容の完成度	ライティング能力 文法・写真と文章の関連性・文章の質と多様性・語彙・構成・理由や例を挙げて意見を述べているか
6. テストの性質(テキスト・タスクの性質など)・項目数	スピーキング ・音読問題 ・写真描写問題 ・応答問題 ・提示された情報に基づく応答問題 ・解決策を提案する問題 ・意見を述べる問題	ライティング ・写真描写問題 ・Eメール作成問題 ・意見を記述する問題
7. 採点基準	分析的評価・各問のスケールについては「9. 評価・Feedback」の項目を参照	
8. 得点	スピーキング 音読問題(2) 写真描写問題(1) 応答問題(3) 提示された情報に基づく応答問題(3) 解決策を提案する問題(1) 意見を述べる問題(1)	ライティング 写真描写問題(5) Eメール作成問題(2) 意見を記述する問題(1)
9. 評価・Feedback	スピーキングQ1～Q9は0～3のスケールで採点、ライティングはQ1～Q5が0～3、Q6,7は0～4、Q8は0～5のスケールで採点され、能力別評価がスピーキングで8段階評価、ライティングで9段階で示される。最終的に0～200点のスコアで提示	
10. 受験時間	スピーキング20分、ライティング60分	
11. 受験者数	10,700人(2011年度)	
12. 受験料	9975円(追加申し込み期間中は12600円)	
13. ウェブサイト	<a href="http://www.toeic.or.jp/sw/">http://www.toeic.or.jp/sw/</a> <a href="http://www.ets.org/toeic/speaking_writing/about">http://www.ets.org/toeic/speaking_writing/about</a>	
14. その他(変化・特徴など)	S/Wテストは2007年に東京、大阪、名古屋などの一部都市で初めて実施され、その後現在に至るまで受験会場数は増加している。 そもそもTOEICと関連して行われていた口述試験として、LPI(Language Proficiency Interview)があったが、2010年2月に終了し、TOEIC S/Wテストに組み込まれたような形になった。 まだ受験者数が少ないことや、TOEFL iBTと同様、受験会場に限界があることから、爆発的に普及しているとは言えない現状	

感想

ETSが運営・開発したテストなので、就職活動等にも役立てられると感じた。受験費用も非常に高額というわけではないため利用しやすいテストだと思う。受験対策関係の本も徐々に始めているため、勉強しやすいだろう。(Y.Y.)